

県立工業技術センター研究課題評価シート【令和4年度】

〔追跡評価〕

No.	研究課題名	研究の概要	評価結果及び委員からのコメント	提案機関へのアドバイス
	主担当部署			
	研究期間			
9	<p>リアクティブ3Dプリンタによるテーラードラバー製品の設計生産と社会的な価値共創に関する研究開発</p> <p>生産技術部</p> <p>平成26年度～平成30年度（5年間）</p>	<p>本事業において、足形状・走行解析用スマホアプリおよび靴インナーソール用加硫ゴム3Dプリンタを開発した。</p> <p>それぞれの成果は、学会や学会誌、その他各メディアにおいて公表するとともに、開発したスマホアプリにおいては、大手メーカーと共同研究を実施。また、加硫ゴム3Dプリンタでは、装置および材料で特許出願・取得し、企業とのライセンス契約を締結し、装置開発が進められた。</p>	<p>【達成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NEDO・SIPの成果として十分である。 ・スマホでの3D形状作成アプリを作成している。 ・特許出願・取得、学会やメディアなどでの公表など、研究成果の波及効果は高く、大変、実用性・有効性の高い研究である。 ・特色のある成果が創出されたことは意義がある。 ・装置開発、材料開発に成功し、目標を達成している。スマホを使った足形計測技術を開発している。知財を着実に取得している。 ・研究目的に合った結果が出ている ・ゴム製品の3Dプリンティング技術を確立しており、今後、幅広い応用も考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴムの3Dプリンタの活用を先導してほしい。 ・今後の研究の発展が楽しみである。 ・プラットフォームの宣伝を効率よく進めて頂きたい。 ・コスト面で不利なので、相当高付加価値の製品に展開する必要がある。 ・得られた成果をどのように活用するか、幅広く検討して頂きたい。例えば強度の外反母趾、足が不自由な人のための靴づくりなど、応用は広いと思われる。